

公衆衛生学実習

1) ユニット名 公衆衛生学実習（地域保健医療実習）

2) ユニット責任者 羽田 明

3) ユニット担当教官一覧…医学部moodleを参照のこと

4) ユニットの概要

公衆衛生学で担当する分野は、疫学、母子保健、学校保健、感染症、成人・老人保健、地域医療、衛生行政、国際保健、医の倫理など幅広い。実習では、厚生労働省、都道府県の行政、地域医療、老人、障害者（児）施設、教育施設、労働衛生などの現場を体験することにより、公衆衛生の重要性を理解する。

5) ユニットのゴール、コンピテンスと達成レベル

・ゴール

公衆衛生の現場を実際に体験することにより、公衆衛生的視点を持った医療従事者になること

・コンピテンス達成レベル表

ユニットコンピテンス		卒業コンピテンスに対する達成レベル (公衆衛生学実習ユニット)	
II. 医学とそれに関連する領域の知識			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 基礎、臨床、社会医学等の知識を有し、それらを医療の実践の場で応用できる。医療の基盤となっている生命科学、人口、環境など関連領域の知識と原理を理解している。 以下の知識を有し、応用できる。			
4	病因、構造と機能の異常、疾病自然経過と予防	B	応用できる知識の習得が単位認定の要件である (Applied)
6	疫学、人口統計、環境	B	
7	医療の安全性と危機管理	B	
8	医学医療に影響を及ぼす文化、社会的要因	B	
III. 医療の実践			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 患者に対し思いやりと敬意を示し、患者個人を尊重した適切で効果的な医療と健康増進を実施できる。医学とそれに関連する領域の知識を統合して、急性あるいは慢性の頻度の高い健康問題の診断と治療を原則に従って計画できる。			
5	頻度の高い疾患の診断と治療計画を患者の心理・社会的因子、文化的背景、疫学、EBMを考慮して立てられる。	B	模擬診療を実施できることが単位認定の要件である (Applied)
9	リハビリテーション、地域医療、救急医療、集中医療に参加できる。	B	
14	電子化された医学・医療に関する情報を利用できる。	C	基盤となる態度・スキルの修得が単位認定の要件である (Basic)
V. 医学、医療、保健、社会への貢献			
千葉大学医学部学生は、卒業時に 医学、医療に関する保険、保健制度、期間、行政の規則等に基づいた業務と医療の実践、研究、開発を通して			

社会に貢献できることを理解する。		
1	各種保険制度など医療制度を理解する。	B
2	患者の診療，健康の維持，増進のために各種医療専門職の有用性を理解する。	B
3	地域の保健，福祉，介護施設の活用が患者個人と医療資源の適正な利用に必要であることを理解する。	B
4	患者と家族の健康の維持，増進のために施設を適切に選択できる。	B
5	地域の健康・福祉に関する問題を評価でき，疾病予防プランを立案できる。	B
6	医師として地域医療に関わることの必要性を理解する。	B
7	医学・医療の研究，開発が社会に貢献することを理解する。	B

理解と計画立案が単位認定の要件である (Applied)

・授業スケジュールとコンピテンス

- 1) 厚生労働省，保健所などでおこなわれている公衆衛生行政の仕組みを理解する。
- 2) 地域医療の現場での課題を把握し，今後のあり方を考える。
- 3) 労働衛生の役割と課題を把握する。
- 4) 老人福祉の課題を把握し，今後のあり方を考える。
- 5) 障害者（児）福祉の状況と課題を把握し，今後のあり方を考える。
- 6) 障害児教育について考える。
- 7) 感染症対策の仕組みとあり方を考える。

6) 評 価 法

各グループの発表 (20%)

個人提出のレポート (80%)

7) 授業スケジュールと対応するコンピテンス・レベル (Ap : Applied, Ba : Basic)

次頁参照

2013年度6年一貫医学英語プログラム

目 標 グローバル化対応能力（英語を高いレベルで「読む」「聞く」「話す」「書く」能力）を修得し，英語による医療コミュニケーションを実践できる。

方 略 全学生を対象とする6年一貫で順次性のある医学英語能力向上プログラム

責任者 田 邊 政 裕

6 年 次

患者に対する英語での医療面接，身体診察，症例プレゼンテーション等（海外大学におけるクラークシップ，選択）

■クリニカル・クラークシップ（海外大学におけるクラーク・シップ）（選択）

目 標：海外大学（米国，韓国等）でのクリニカル・クラークシップを実践できる

評 価：実施大学における指導医評価（6年次の本学における評価に反映される）